

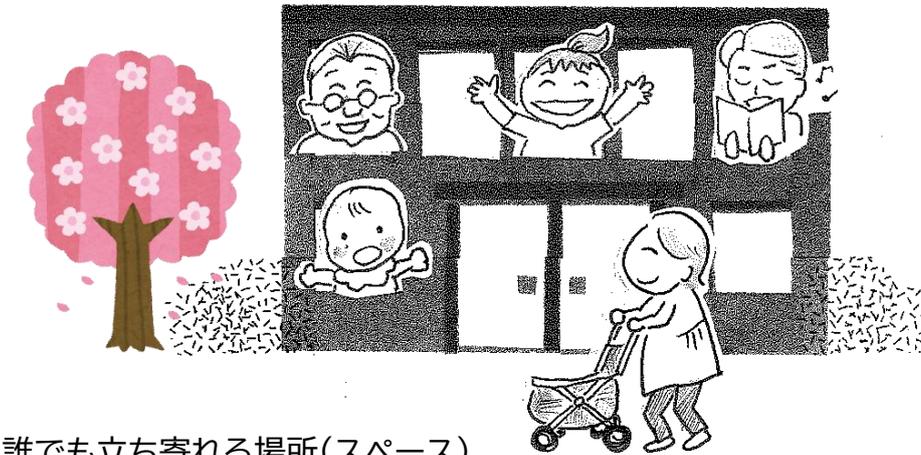
みんなの居場所 こんな施設があったらいいな



まちの縁側
ぬくぬく亭

1年で388回行ける場所

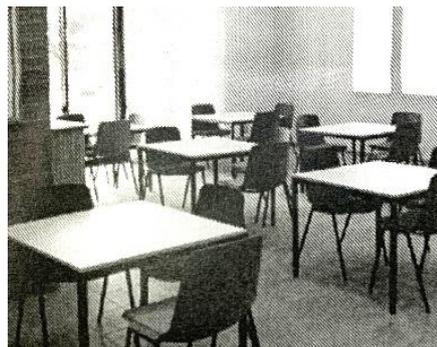
令和元年に起きた台風19号災害がきっかけでできた居場所です。大変な事があったからこそ生まれたところです。現在は豊野支所内の一室で地元のボランティアさんの手によって運営されていて、共に歩む“思い”をつないでいます。そこに人がいるから、立ち寄れる、話ができる、ホッとできる、情報が得られる、豊野支所に用があってそのついでに顔が出せる、公共の施設の中にあるから行ける居場所です。



誰でも立ち寄れる場所(スペース)

豊野防災交流センター 交流ラウンジ

誰もがふらっと立ち寄れる場所。学校帰りの中学生や高校生が勉強できるなど、意外とありそうでなかった場所です。(予約が入っていないときは防災学習室を開放してくれます。)



地域で気楽に立ち寄れる場所とは……。今回市内の公共施設3カ所を取り上げてみた。皆さんも騙されたと思って行ってみて肌感覚で居こちを味わってみてはいかが。2、3面では昨年未のボラ市民会議を振り返った。理想しやすい公共施設にするためには行政の柔軟な対応と市民の積極的な提案や協力が不可欠であろう。

ホッと一息！お茶が飲める

長野市ボランティアセンター 丸テーブル



様々な人がやって来る自由なたまり場です。

いろいろな事に迷ったり、困ったり、行方不明になったら行ってみよう。お昼ご飯を食べに来る人もいます。お茶も飲めます。

ボランティア市民会議2025「市民と行政の協働による活動拠点づくり」

公共施設はこう使いたい

要望だけではない、協力もしたい

ボランティアと行政の意見交換

昨年12月20日、長野市ふれあい福祉センターにて、荻原市長を招き利用者約50人、管理者約10人で意見が交わされました。

毎年行われる本会議は普段交わされない本音が飛び交う重要な機会です。荻原市長にも前半出席していただき、ボランティアの想いをぶつけることができました。

市長も施設の使い方疑問をもたれたこともあり、自身の体験談も込めて「公共施設は市民の居場所」であると語ってくれました。話は施設利用に限らず、「社会福祉」とは「ふれあひ、だんのかい、くらしのしあわせ」まで膨らみ、

であると、基本的に立ち返る意見も出されました。

利用者側の意見の主なるものは貸館に対する制限が厳しく使いつらい部分があること、四角四面ではなく、柔軟な対応を求めるとの意見などでしたが、公民館の使用条件の緩和については具体的な改善意見も出されました。

市役所周辺の駐車料金が高額なボランティアグループの大きな負担になっていることも大勢の意見でした。管理者側からは、それぞれの部署で担当している施設の、あまり知られていない使い方などの紹介がされました。

双方の共通の意見は「公共施設は利用者和管理者が一緒に作っていくものであり、市民の想いを出し合うことが大切」ということだとまとめました。と思います。

参加者全員の見解を 集約、新たな発見に

第2部ではテーマに沿ったそれぞれの立場での想いを文章にしてもらいました。

あつてよかった公共施設の利用方法では「ふれあい福祉センター」が断トツ一位で、「防音室がある」「もんぜんぶら座」なども挙げられていました。「かがやきひろば」は公民館ではなかなか使えないボランティアグループも使えます。ただし現在は市街地で3か所しかありません。

①-1 あつて良かった公共施設利用者から

- ふれあい福祉センター
 - ～良いところ～
 - Wi-Fi、冷暖房完備
 - 土日含め22時まで開館（日中仕事する人は感謝してる）
 - 調理室、調理台の数
 - テーブル、5Fホール
 - コーディネーターがいること
 - 無料での利用（登録必要）
- 長野市障害者福祉センター
 - もんぜんぶら座
 - 防音室・学習スペース
 - トイゴ（高いがきれい）
- 芋井社会会館
- 豊野・柳原・篠ノ井交流センター

①-2 施設のこんな利用方法があります 管理者から

- かがやきひろば
 - 趣味やボランティアなど自主グループ活動が無料で使えます
- 長野市障害者福祉センター
 - 利用者が限られているが22時まで利用可
- もんぜんぶら座地下ホール
 - 入場料が必要な発表会に利用可
- 長野市芸術館
 - 練習室でも会議で利用できます

②-1 公共施設がこうなればいいな 利用者から

- <ふれあい福祉センター駐車場>
 - スタッフの駐車料が無料か補助券
 - 4時間無料・割引・減免
- <ボラセンこんな使い方したい>
 - 他グループとの共同利用
 - 自由な空間・防音室
 - 地域の利用増、交流の拠点
- <その他施設の使い方>
 - ヒト、モノ、コトが混ざり合う公民館
 - 廃校（清野小）を住民が使える場所に
 - 予約なしのフリースペースが欲しい
- <施設管理>
 - 役人のような管理的対応が多い気がする
 - 施設を管理することが利用者を管理することになっている
- <施設で食事がしたい>
 - 飲食できる公民館にして欲しい
 - 作って食べられるようにして欲しい

- <トイレ>
 - 和式を洋式にして欲しい
- <予約を楽に>
 - 手続きの簡素化・条件の緩和
 - ネット予約・空き状況の確認
 - 早期、長期予約



②-2 こんなことで困った 管理者から

- <キレイにやさしく使って>
 - 利用後の片付け
 - 備品や部屋はやさしく使って欲しい
- <老朽化>
 - 空調、照明など
 - 修繕費、光熱費の高騰
 - 予算確保に苦慮、即対応できない
- <行政からのつづやき>
 - 施設側の説明を言い訳ととらえられてしまうこと
 - 社会福祉活動の線引きが難しい
 - イベント開催時の駐車場の混雑

←様々な意見

③-1 わたしたちにできること
利用者から

<活動推進>

色々なイベントの宣伝、啓発
参加者を通して施設の利活用の推進
デジタル予約システムなどITの推進協力
ボランティアを増やすこと

<キレイに使う>

ルールを守る、ゆずり合う
キレイに使う、清掃、大掃除、補修
草取りなどの環境整備・剪定、低木の伐採
維持管理の協力
使用者としての責任をもつこと

<住民参加>

みんなで今いる空間をデザインしよう
利用者と一緒に公共施設を作る意識をもつ
どう使う、どう使いたいかの意見を新もんぜんぶら座
に生かしたい

③-2 使う方をお願いしたいこと
管理者から

<キレイにつかって>

玄関先の緑化活動（既に実施）
調理室の大掃除（既に実施）

<PRをしてほしい>

障害者の居場所としてPRして欲しい
こんな使い方を提案して欲しい

<ルールを守る、お互いを尊重>

予定を固めてから予約して欲しい
条例以外の法律の遵守
利用される多くの団体との相互理解
利用団体によって考え方が違うことを理解して欲しい

多くの人が公共施設で交流や活動を兼ねなく行いたいという願いがあると同時に、施設の維持管理に協力したいという気持ちも合わせて持っています。

利用者側のできることには、大切に使う、ルールを守る、ゆずり合うという規約には

表せない言葉が並び、皆さんが気持ちよく活動できるように心がけて利用するなど参加者の意識の高さが目立ちました。

もんぜんぶら座は既に取り壊しが決定しており、これから意見を取り入れた再建築が望まれます。

ふれあい福祉センターは人が集まれる場所としてのモデルケースとなっていています。それは建設前から使用人の意見を取り入れた結果であるからです。他にも市内には同様に居場所づくりに尽力され、成功された所もあります。

また、市の社会教育委員会において「市立公民館の交流センター化」が推進されています。これは「公民館を地域コミュニティ活動の拠点として使いやすい」という要望から具体化されています。今後、期待しています。

参加者の感想 I

「市民会議」はボランティア活動をする方とされる方にとつて誇りに思える事業です。先輩方のたくまざる活動への熱意が勝ち取ってきたものであることを認識し継続を願っています。

特に今回は公共施設など利用できる場所がテーマでしたので、行政の方と一緒にすることは重要なこととしました。

市施設の運営が指定管理者とどう使う、使

参加者の感想 II

いろいろな分野で地域に貢献されているボランティアの方々、活動環境確保のために悩みながらも、工夫を凝らしていることを知ることができ、頼もしく感じました。ありがとうございました。

（長野市社会福祉協議会）

（ホワイトナッツ 本田さん）



市民会議の様子

豊野支所内にあり、市民が気軽に立ち寄れる場所として設立、運営されています。台風19号災害後、住民が集まれる拠点が重要だと感じた14のボランティアグループが立ち上げた市民の居場所です。

特異な点は支所内の一室にあるということ。住民自治協議会も隣室にあり、横のつながりが保たれて協働職員がほぼ常駐できるというメリットもあります。男性はあまり来ないのですが、支所の用事のついでに顔をのぞいてみる方もいます。住民の顔を知らなくて、地

「自由使えるスペース 豊野防災交流センター」

こちらも台風19号災害後に公民館機能移転と同時に住民交流の場として交流センター化されました。70㎡ある交流ラウンジは自由に使って、本をあげ、夏休みには小学生が宿題を持ち寄り活用されている場所として利用されています。また、図書コーナーの蔵書も充実しており、200㎡ほどある多目的ホールは成人式や文化祭イベントで利用されています。

市民の居場所の代表例
「まちの縁側ぬくぬく亭」と
「豊野防災交流センター」



豊野防災交流センターの図書コーナー

域の孤立防止にも役立っています。



得意なことと好きなことがおせっかい活動に生きる

得意なこと、好きなことがおせっかい活動に生きます。今回、おせっかい講座から生まれた「シニアカフェ安来節」チームを紹介します。

シニアが健康で元気に過ごすには、食事と運動が大事とよく言われますが、運動に楽しさを加え曲に振りをつけて踊るグルーブを結成しました。「シニアカフェ安来節」です。

メンバーが初めて顔を合わせたのは、昨年の10月29日にボランティアセンターで開かれた「おせっかい講座」でした。何を目指しどんなおせっかい活動をしていくのか相談。チーム名を決め、安来節を踊る練習を始めました。アイデアを出し合うと面白くなり、他の曲も踊ろうと意欲満タン。さらに大勢の人に元気になってもらいたいとボランティアセンター



サザエさん体操で利用者の皆さんも盛り上がる

歌って踊って元気になる 健康長寿をめざして

の紹介でデイサービスセンターで踊ることが

決まりました。衣装や小道具をそろえ、踊る順番や一緒に体を動かしてもらうための工夫など相談するひとときが楽しくおしゃべりも弾みました。デイサービスでの活動は緊張もありましたが、体を動かしていくうちに息が合っ利用者のみなさんも体を動かして楽しそうな様子が見えました。温かい拍手をいただき、たっぷり歌って踊ってみながら笑顔になりました。年を重ねると運動がおっくうになります。が、楽しい曲のついで軽く体を動かすことは血流がよくなり健康に

繋がると思います。この活動が大勢の人に喜んでもらえることは、私たちの大きな励みになります。

一曲わずか3分！さあ皆さん、楽しく踊って健康長寿100歳を目指しましょう。
(シニアカフェ安来節 霜田)

今度は
あなたのまちへ
おせっかいに
出掛けます



「お祭りマンボ」を踊るメンバー

情報市場のおすそわけ



節分が終り、いよいよ春に向かっていきますね。先日、中野市社会福祉協議会で、「ちよいボラ」を楽しく話してきました。晴天に恵まれて参加者が60名、一般の方から、民生委員、個人のボランティアさん、地域のお助け隊、社協職員、遠くは小海町社協さんも参加してくれました。この講演会のいつい何に興味を持ったか？参加者から聞いたところ「ちよいボラって何？」でした。

ボランティア活動は楽しくないと長続きしません。月例情報市場も264回目の開催、それはきっと参加すると楽しいからです。そして親身になって聞きながら聴いてくれる人がいるからです。隣近所が希薄になる社会では、あいさつの大切さも再確認できました。あかるく、さきに、いつも、つづける。例えば駅の立食いそばでは、背筋をピンとのばして姿勢よく食べる立ち姿も大切。店を出る時には「御馳走様、美味しかった。」と他のお客に聞こえるように言うのも、ちよいボラです。照れずに気持ちを含めて堂々と言えば、次々と後を追うように挨拶を交わすようになるでしょう。目の前の人を笑顔にすることが、ちよいボラです。笑顔が増えたら、世の中はあつという間に明るくなると思います。

(込山哲也)



えんがわものがたい 11

おやきや千代子 三輪店

常にあいている子ども食堂を開きたい

三輪幹線を通ると「おやきや千代子」の看板が目にとまります。



みんなが集まる食堂

入り口横には「フードリボン」「ちよこども食堂」と書かれたボードが置かれています。店内は、椅子やテーブル、小上がりの部屋にもおもちややゲームもたくさん置いてあります。「おながすいた

温めていました。長野にUターンし、義理のお父さんのおやきやを手伝い、2号店として三輪店を開店しました。飲食店で子ども食堂ができないかと全国の取組を調べていたとこ

らきてね。あそぶだけでもいいよ」とチラシには書いてありました。「小中学生時代はずっといじめられてたんですよ」と話す店長の小湊さん。いつでもあいている子ども食堂を開きたいとずっと思いを温めていました。

も子どもが来て食事ができる子ども食堂です。小湊さんは幼少期からお母さんが取り組んでいた子ども支援のボランティア活動と一緒に生時代には体験型の児

る、フードリボンネットワークを知りました。地域の方が1つ300円のリボンを購入し、そのリボンを店のボードに貼っておく。リボン一つで子どもが無料で食事ができる仕組みです。

「何か手伝うよ」と地域の方に声をかけてもらったり、小湊さんの思いに共感して子ども食堂の活動に関わる方も増えてきているようです。「おやきや千代子」は、つい長居をしたくなるような居心地のよいまちの縁側でした。

童館のような場所が自分にとっての心地よい居場所であったこと、そこで多くの大人に様々な体験をさせてもらったこと、またその場所で自分自身もボランティアをしていたことなど、小湊さん自身の様々な経験が、この店の心地よさを創っているのだと感じました。

もちろん、子育ての悩みを話す人や、中学生がふらっと寄って学校や友達、家庭の悩みなどをほろっとこぼせる場になっているようです。

「いつもストリート」は、長野市ボランティアセンターで起きている、ヒト・モノ・コトについてお伝えしています。

編集委員から一言

227-3707

一笑一服



丸田秀明さん(81)



川中島地区で75歳以上の独居、夫婦世帯や介護認定者対象に支援する「困り事手伝い隊」を区から補助も得て6年前結成。9人の仲間と草取り、ゴミ出し、買い物補助、送迎等を行っている。「ボランティアは自分のため。できる限り続けたい。地区で困っている人多いんだもの」と意欲的である。

高校教師を定年退職後、地区の民生委員となったのをきっかけに高齢者向け情報誌「シルバー通信」(月1回発行)の企画編集から発送までを自費で始めた。退任後も発行し続けて14年。今年1月で168号になった。内容は保健情報に耳寄り話や読者投稿欄と盛り沢山。文字も大きく、高齢者配慮も忘れない。今では民生委員会が費用を負担。「毎月で大変だけど『楽しみにしているよ』と言われるんで作るのは楽しい」と笑顔を見せた。

定年後健康診断を受けていないが「健康なんて気にしないよ」。コロナもインフルエンザも罹ったことがないとか。一人暮らしだが「夜スーパーでタイムサービス品買って来て適当に料理して食ってる。だから寝るのは午前1時で起きるのは午前8時半だ」と言い、「自由やりたい放題だね」とあっけらかん。「くよくよしないで今日元気なら良さ」と物事に拘らない鉄人だ。(大日方)

ボランティアかわらばん編集会議を毎月オープンで開いています。
6月号(4月1日(水))
7月号(5月7日(木))
【時間】10時〜12時
【場所】長野市ボランティアセンター
「ボランティアの今を問う」をテーマにボランティアセンターで語り合います。お気軽にご参加してください。お待ちしております。

講座

■経済セミナー

日本経済、地域経済の動きや個性豊かな企業の事例を
うかがい、学ぶための講座です。

日時 2月20日(金)、27日(金)、3月6日(金)、13日(金)
場所 長野市生涯学習センター 学習室
申込み・問合せ 長野市生涯学習センター (担当: 笠原)
TEL 026-233-8080

募集

■体験型防災イベント「まなぼうさい」

子供向けの体験型防災イベント「まなぼうさい」を開
催します。楽しみながら防災について学んでみませんか？
10個の体験ブースをスタンプラリーでめぐります。避難
所体験や非常用トイレ体験、防災クイズなど子供から大
人まで誰でも楽しめます。消防車と救急車もやって来る！

日時 3月24日(火) 10:00~15:00(受付14:00まで)
場所 松代公民館 (長野市松代町松代4-3)
参加費 無料
*スタンプラリー参加者には防災グッズプレゼント！
★当日の運営ボランティアも募集中★
防災やイベントに関心のある方一緒にやりましょう
活動時間 9:00~16:00 (午前のみ、午後のみでもOK)
持ち物 上靴、水筒
申込締切 3月20日(金)
申込み・問合せ 松代復興応援実行委員会 (担当: 西沢)
TEL 080-6939-2719



いつも傾聴でんわ

哀しかった・辛いな・嬉しいことがあった…
どんなことでもお話ください。

お電話
待ってます

TEL 026-225-0404
月・土 14:00~18:00 水 14:00~21:00



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
毎月第2火曜日19時ON AIR

長野ボランティアステーション

3月10日(火)は

「おはなしりんご畑」

出演者大募集中

です。



お問合せ/長野市ボランティアセンター



長野市ボランティアセンターへ

ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレホンカード、ベルマーク等
(12月16日~2月12日分)

岡村好子 瀧澤史貴 株式会社前田製作所 長野信用金庫
平和土地建物株式会社 大和ハウスリフォーム株式会社 えがあの会
明治安田生命保険相互会社長野支社昭和通営業部 シニア大学
すこやか食生活協会 瀧澤行政書士事務所 吉田地区ポッチャ愛好会
川中島民生委員会 大豆島住民自治協議会 長野市浄水課犀川浄水場
長野市市民窓口課 長野市収納課 長野市保健所健康課
長野市消防局総務課 かがやきひろば更北 かがやきひろば安茂里
かがやきひろば東北 シニアアクティブルーム
匿名11名 1校 (敬称略・順不同)

どなたでも
"ふらっと"
参加できます



長野市ボランティアセンターで開催しています

問: 長野市ボランティアセンター TEL: 026-227-3707

エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して封筒を作ります。年齢・性別を
問わず、ご参加いただけます。



4月7日(火) 10:00~11:30
5月12日(火) 10:00~11:30

切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小箱を作
ります。のんびりゆっくりおしゃべりしながら楽しい時間を過
ごしましょう。

3月13日(金) 13:30~16:00
4月10日(金) 13:30~16:00



ねこはんでんサロン

ねこはんでんの作り方を教えていただけます。楽しく、おしゃ
べりしながらご参加いただけます。お気軽にお越しください。

3月9日(月)・13日(金)・18日(水)・23日(月)
30日(月)・4月3日(金) 開催時間はお問合せください



グリーンボラカフェ

花や緑が好き、ちょっと園芸にかかわってみたい方など、どな
たでも気軽に参加していただけます。

4月9日(木) 13:30~15:30
5月7日(木) 13:30~15:30



読者アンケートにご協力ください

右のQRコードを読み込んでいただき、
感想やかわらばんで取り上げてほしい
内容を投函してください。



「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への音訳ボランティアグループ「やまびこ会」
による音読版「ボランティアかわらばん」を長野市社会福祉協
議会のホームページで公開しています。

こちらの二次元コードから →



お知らせ

■カノンの会 「大人の発達障がい当事者」の交流会

発達障がいがあることで、困っていることや、悩んでいる事、趣味や興味のある事などを気軽に話せる場所です。グレーゾーンの方もお気軽にご参加ください。

事前にお申込みが必要です。

日時 3月14日(土)13:20~16:40

場所 もんぜんぶら座 701号室

対象 当事者及びご家族の方

参加費 無料

問合せ カノンの会(担当:宮下)

TEL 080-8821-3327

■「春の彼岸交流会」へ集合だあ〜!!

令和8年「春の彼岸交流会」を開きます。

みんなで「おはぎ(ボタ餅)」を作って美味しいお彼岸を楽しみましょう。

日時 3月20日(金・祝)

場所 長野市ふれあい福祉センター

対象 精神障がいに関心のある方(当事者・家族・一般)

参加費 300円

申込締切 3月13日(金)

問合せ ホワイトナッツ(担当:本田)

TEL 026-226-8740

■「アンチエイジング」 ー老化の早い人と遅い人の違いー

心も身体も若々しく居たいと誰も望んでいると思います。どうしたら手に入るのか?私達と学んでみませんか?免疫力が上がることで、色々な事が自分の手に。

参加下さい。

日時 3月14日(土)13:30~

場所 長野市ふれあい福祉センター

講師 中医学・理学博士 中嶋研二氏

定員 20人

参加費 500円

申込締切 3月13日(金)

問合せ・TEL 090-2179-9741(担当:高遠)

メール sowing.net@gmail.com

■発達障がい者サポーターカフェ 「いちごカフェまつしろ」

発達障がいをお持ちの方やその家族、身近な理解者が

気軽に集えて笑顔で話せる場です。情報交換や相談もできます。

日時 4月11日(土)10:00~12:00

場所 まち歩きセンター伝承館(長野市松代町松代577)

参加費 300円

問合せ いちごカフェまつしろ(担当:きたむら)

TEL 090-4461-1403

■MC Jhonnyのレコード・サロン

今回は映画音楽、イージーリスニングの特集です。他にお持ちのレコードによるオールジャンルのリクエストです。皆なで楽しみましょう。

日時 3月10日(火)10:30~

場所 長野市ふれあい福祉センター 4階第2会議室

問合せ フレンズ・エンターテイメントEX(担当:宮川)

TEL 090-9358-1767

メール hmnet2435@gmail.com

■トーベとムーミン展 〜とっておきのものを探しに〜

「ムーミン」の生みの親で、多方面に才能を発揮したアーティスト、トーベ・ヤンソン(1914-2001)の創作の世界と、「ムーミン」シリーズの魅力に迫ります。

詳しくはこちら→ https://nagano.art.museum/exhibition/exhibit2025_tove-moomins

日時 2月7日(土)~4月12日(日)9:00~17:00

(展示室入場は16:30まで)

*水曜休館

(ただし2/11(水・祝)は開館、翌2/12(木)休館)

場所 長野県立美術館 展示室1・2・3

問合せ 長野朝日放送

TEL 026-223-3133

■北野美術館「長野市内小学生のファミリー 限定 親子無料ご招待月間」

毎年3月の1ヶ月間、長野市内の全小学校の児童とその保護者様2名様を北野美術館に無料ご招待して親子で芸術に親しんでいただく、今年で5年目となる恒例イベントです。

敬遠されがちな美術館ですが、気軽に楽しめるイベントも盛りだくさんに用意しています。

ぜひこの機会にご来場ください。

日時 3月1日(日)~3月31日(火)

場所 北野美術館

HP <https://kitano-museum.or.jp/>

問合せ 公益財団法人 北野美術館(担当:島崎恵)

TEL 026-282-3450

ボランティア情報



カレンダーのご寄付ありがとうございました

今年もカレンダーや手帳を、個人、企業、団体の皆様からご寄付いただきました。
カレンダーを希望する方にお持ちいただいた後、封筒として再利用するなど活用します。



【ご寄付いただいた皆様】（敬称略・順不同）

株式会社前田製作所 株式会社タツノ 社会福祉法人ながのコロニー サンリン株式会社長野支店 信濃衣料
株式会社湯本建築設計 株式会社マルイチ産商 株式会社TOSYS 東日本高速道路株式会社関東支社長野工事事務所
株式会社シューマート 明治安田生命保険相互会社長野支社昭和通営業部 三井ホーム甲信アルプスホーム株式会社
ベルバン 瀧澤行政書士事務所 グットタイムリビング株式会社 大和証券株式会社（難波支店 宮崎支店 戸塚支店
うすい支店 大阪支店 和歌山支店 船橋支店 PB名古屋 水戸支店） 大和ハウスリフォーム株式会社長野営業所
株式会社大和ファンドコンサルティングファンド調査部 株式会社大和総研ヘルステック企画部 大和リース株式会社
松代福祉寮 込山哲也 塩入 瀧澤史貴 中島広光 阿部今日子 大豆島住民自治協議会 長野市芸術館
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部 匿名27名・1団体・4社

ボランティア活動保険のご案内

活動中のさまざまな事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方を対象に、ケガや損害賠償を補償します。

補償期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

●申込用紙

●受付開始

●受付場所



長野市ボランティアセンター窓口にて配布しています。

3月2日（月）から

・長野市ボランティアセンター

・かがやきひろば

（三陽 安茂里 氷鉋 鬼無里 中条）

・信州新町福祉センター

サマーチャレンジボランティア2026 受入先募集のお知らせ

サマーチャレンジボランティアは、夏休みを利用して「ボランティア活動体験」ができるプログラムです。

この夏、サマチャレの受け入れ先になってみませんか！

受入期間 7月19日（日）～9月5日（土）

※ 1人3日以上を受け入れをお願いします
（感染症等の関係により変更になる場合があります）

募集対象 事業所（福祉施設、医療機関、公共施設等）
ボランティア団体・NPO団体など

募集締切 4月17日（金）

《受け入れ先担当者の声》

皆さんが活気づく様子が見てとれたし、スタッフも改めて仕事について考える機会となった。（高齢者施設）

《参加者の声》

普通の生活では体験できないことを通して経験することができました。人との関わりなどの大切さを学びました。（高1）

申込み・問合せ 長野市ボランティアセンター

TEL 026-227-3707

詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。
また、長野市福祉協議会のホームページにも掲載しています。



◆◆◆ 問合せ・申込み ◆◆◆

長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707 FAX 026-224-1513

「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

読者アンケートにご協力ください。

視覚障がい者への朗読ボランティアグループ「やまびこ会」による音読版「ボランティアかわらばん」を長野市社会福祉協議会ホームページで公開しています。



右のQRコードを読み込んでいただき、感想やかわらばんで取り上げてほしい内容を投函してください。



